

市民科学・日本地理学会シンポジウム

日本地理学会より挨拶

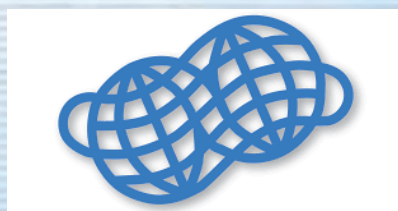
小口 高（おぐち たかし）

公益社団法人日本地理学会・会長

東京大学・空間情報科学研究センター

公益社団法人日本地理学会

- 地理学の研究と普及、地理教育の推進、社会連携の推進、国際協力の推進
- 1925年（大正14年）創立：来年が百周年
- 会員数約2900人
- 主要機関誌：地理学評論



三澤勝衛 1926

地理學評論 第二卷第十號 大正十五年十月一日發行

諏訪製絲業發達の地理學的意義(上)

三澤勝衛

本邦輸出貿易品中の大宗である生絲、そして其代表的輸出港である横濱に於ける、本邦器械生絲横濱入荷高の大正九年から同十三年に至る五ヶ年間の平均高は、全國の分年に四七四、一六四担で、中、長野縣からの入荷は一五七、二七六担即ち約三三、二%に當り、そして其長野縣からの入荷中約四四、〇%即ち六九、二〇五担は諏訪郡からの入荷である。

又是を大正六年から同十年に至る五ヶ年間平均の全國生絲生産高から見ると、其生産額六、一〇九、一〇四貫に對し、長野縣生産は一、五九七、一九四貫で約二六%に當り其中の約四三%即ち六八〇、九四九貫は、同じく諏訪郡の占める生産高である。

諏訪製絲業發達の地理學的意義(上)

六三 一

第1號

地理學評論

47

東京近郊に於ける防風林の分布に関する研究 (1)

矢澤大二

<p>目次</p> <p>I 緒言</p> <p>II 防風林研究の地理學的意義</p> <p>III 防風林の諸性質</p> <p> i) 防風林の種類</p> <p> ii) 防風林の位置</p> <p> iii) 防風林の形態</p> <p> iv) 防風林の機能</p>	<p>IV 東京近郊に於ける防風林の分布</p> <p> i) 調査方法</p> <p> ii) 調査範圍</p> <p> iii) 防風林の様式</p> <p> iv) 防風林の密度並びにその考察</p> <p> v) 防風林の方向並びにその考察</p> <p>V 結語</p>
---	---

I 緒言

地理學の核心たる風土性⁽¹⁾(地域性)は其の地域の環境に最も密接な關係の在る耕作景や栽培景に求められる⁽²⁾。此の栽培法の特徴が其の地方の氣候或は土地等の地方的狀態を暗示して居る事が少なくないが、栽培法に關聯する重要な景觀性質の一つは防風林である⁽³⁾。東京近郊の防風林の分布を詳細に調査し、其の結果より分布狀態に關する概觀を得るのが本調査に於ける筆者の目的であるが、此處では單に調査の結果文を報告する事にした。従つて本文は單に素材の提出に止まつたかも知れぬが、分布狀態に對する考察は改めて筆を執る事にした。調査方針、地域決定其の他に關し多くの吟味が爲されねばならぬが、筆者は此の用意に缺けて居る所のあるを考へ、大方の御叱正を仰ぐ次第である。尚ほ、本小論を草するに當り、絶えず懇切な御指導を賜はつた辻

(1) 三澤勝衛：郷土地理の觀方、地域性と其認識 昭6 東京

ii) 風土性に對する認識不足 地理學1、昭8

(2) 百水孜郎：農業の地域性 岩波講座(地理學)昭5 東京

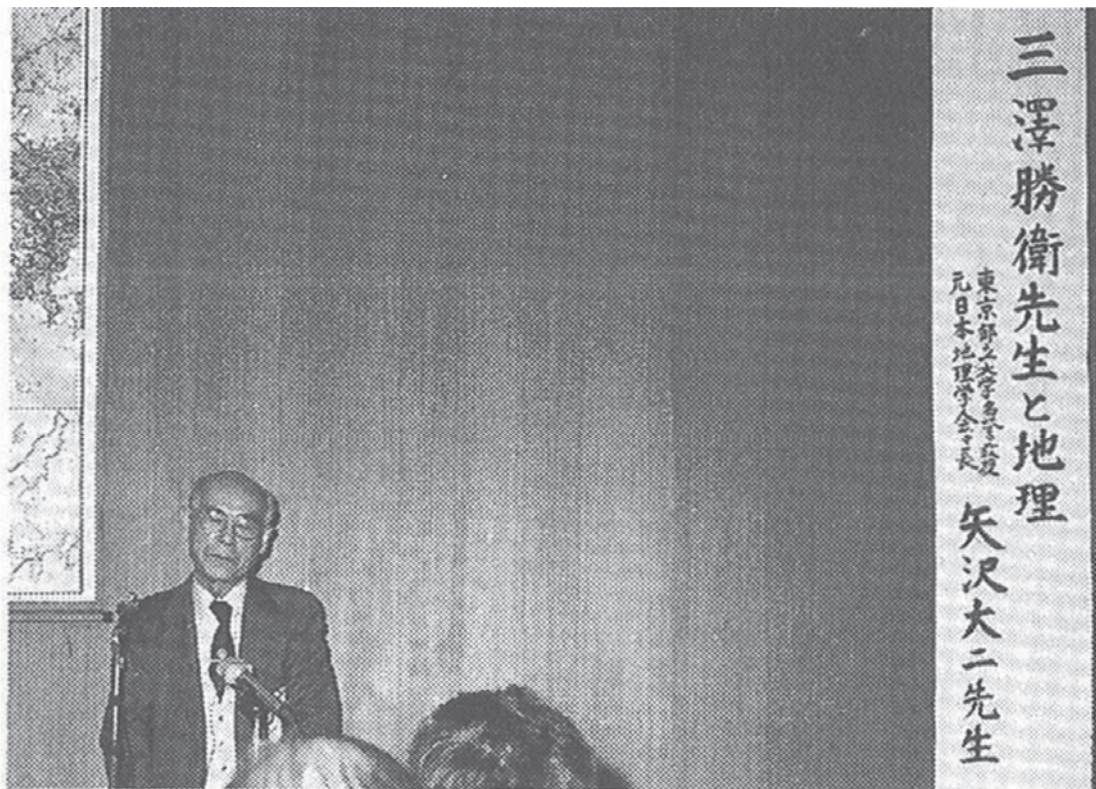
(3) 辻村太郎：景觀地域 岩波講座(地理學)昭8 東京

矢澤大二
1936

日本地理学会諏訪例会 1984年

1984年度諏訪例会プログラム

1. 期 日 11月24日(土)～25日(日)
2. 会 場 諏訪市文化センター(旧北沢会館)(諏訪市湖岸通り5-12-8 電話 0266-58-4807)
3. 共 催 長野県地理学会・諏訪市教育委員会 後 援 諏訪教育会・諏訪清陵高等学校同窓会
4. 日 程 11月24日(土) 13時～ 15時10分 一般研究発表
17時～ 18時30分 懇 親 会
11月25日(日) 9時～ 15時30分 巡 検
5. 一般研究発表 発表時間25分(討論・質疑応答を含む)
 - (1) 伊藤岩廣(下諏訪社中)：諏訪における機械工業化過程
 - (2) 吉田隆彦(信州大)：松本市および岡谷市・諏訪市の上水道事業の地理学的分析
 - (3) 横田忠夫*(山梨大)・中村六郎(小淵沢小)：八ッ岳南西麓農村の変容
 - (4) 太田陽子*(横浜国大)・糸静線発掘調査研究グループ：長野県富士見・茅野地区における糸静線活断層系の発掘調査
 - (5) 東郷正美(法政大)：糸静線活断層系中部の変位様式と活動歴
6. 懇親会 会場：諏訪市文化センター 費用：2,000円
7. 巡 検 費用：3,500円(昼食・バス代・入館料を含む) 人員：100名(参加者が30人未満の場合中止)
諏訪市文化センター(9時)→精密工業団地→諏訪市文出宮川沿い水郷集落→(諏訪湖下水道処理場)→釜口水門→岡谷市公民館(昼食)→岡谷蚕糸博物館→諏訪大社下社秋宮・中山道下諏訪宿場跡→諏訪清陵高校三澤文庫→上諏訪駅(15時30分解散)
案内者：小林寛義・市川健夫・柳平千彦・伊藤岩廣
8. 特別講演(主催：諏訪季節大学会・諏訪市教育委員会) 15時15分～16時30分
矢澤大二：三澤勝衛先生と地理



日本地理学会諏訪例会にて(1984年11月24日)